



# 学校だより ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

平成29年 9月29日

10月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 鈴木 秀一

## 思いやりの心

校長 鈴木 秀一

先月号でもお知らせしましたが、8月29日に行われた「横浜こども会議」に6年生の山下さんが参加しました。山下さんは9月25日の朝会で、次のように報告しました。「テーマは《いじめ問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会をつくろう》でした。金沢区の小・中・高等学校の代表が話し合い、笑顔を中心としたコミュニケーションや相手との触れ合いを大事にしていこうということになりました。それを受けて、釜南小では、《言葉と行動に責任をもち、フワフワ言葉とチクチク言葉を重視した取り組みをしよう》ということになったので各クラスで話し合ってください。」また、こども会議に参加した感想を聞くと「いじめと向き合って、小さなことでも気を付けていかないといけないということに改めて気付いた。私の周りでもチクチク言葉はよく聞かれる。全クラスで話し合い取り組んでほしい。」と話していました。



《朝会で話す山下さん》

本校では～友達を思いやり、友達とひびき合う心～を教育目標に掲げています。「ひびき合う心」を育てるために挨拶に力を入れて指導してきました。挨拶をする児童が増え、先日の学校運営協議会でも保護者や地域の方からお褒めの言葉をいただきました。パークタウン安全パトロール隊世話役で前自治会長の葛巻様もスクールレンジャーで来校した際に褒めてくださいました。今後は「友達への思いやり」にも重点をかけて取り組んでいきたいと思ひます。たくさんのフワフワ言葉が溢れる学校にしていきたいと思ひます。これは、挨拶と同じで学校だけでは指導が行き届きません。是非ご家庭でも「言葉づかい」について話題にいただき、保護者の方のご協力をいただきますようお願いいたします。

30周年記念マスコット「ニレーナちゃん」の着ぐるみ制作がボランティアの保護者の方を中心に進んでいます。合わせて、校庭にある投的板にニレーナちゃんを描くウルムスサポーターの活動も進んでいます。どんな絵が描き上がるでしょうか。どんなマスコットができ上がるでしょうか。とても楽しみです。暑い中、何度も学校に来て作業されるボランティアの皆様、ありがとうございます。また、30周年記念誌の作成も教職員を中心に進められています。地域のことを盛り込んで社会科や生活科の学習に使えるような誌面を構成しています。夏季休業中には釜南小学区近辺の駐在所や消防署などの公共機関、店舗、寺院、農園、大学、自治会長さんや民生・児童委員さんなど多くの方々に

取材協力をいただきました。この場を借りまして御礼申し上げます。ありがとうございました。地域の皆様・保護者の皆様、今後とも釜南小へのご理解・ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



《投的板》



《マスコット》

### 暑さ対策のための水筒持参奨励期間終了について

朝晩だいぶ涼しくなってきました。スポーツフェスタ前から水筒の持参をお願いしてきましたが、9月いっぱい終了となります。引き続き水筒の持参が必要なお子さんについては担任までお申し出ください。